

地球温暖化防止 岡谷でセミナー

岡谷市は8日、地球温暖化防止セミナーを同市のカンパニーホールで開いた。地方自治体の環境政策に詳しい信州大学文学部の茅野恒秀准教授(46)が「脱炭素まっしぐらをはじめよう」と題して講演。

象などの気候変動に警鐘を鳴らして、持続可能な社会の実現に向けて地域主体で取り組む湖面上に張った氷が割れてせり上がる御神渡りが2019年以降、出現していない現状を語った。諏訪地域の厳しい冷え込みと寒風をかけた寒天作りに影響を及ぼし、「地球温暖化防止啓発事業として募集した今年度の「緑のカナ」温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指すゼロカーボン」を表彰した。



地球温暖化防止セミナーで講演する信州大学文学部の茅野恒秀准教授

集中豪雨、豪雪などの異常気象につながっている」と解説。宅を普及させて必要なエネルギーを減らし、太陽光発電を活用していくなど一人ひとりができる取り組みを紹介。「次世代に向けてどのような環境を残すかが問われている」と力を込めた。

セミナーに先立ち、地球温暖化防止啓発事業として募集した今年度の「緑のカナ」温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指すゼロカーボン」を表彰した。(小山真由美)

本報は「環境」のページに「地球温暖化防止」のコーナーを設け、市民の関心に応じ、環境問題について詳しく解説する。また、環境問題に関心のある市民の声を聞き、環境問題の現状や今後の展望について詳しく解説する。